

施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
都市整備部	前田 芳久	63-7764 (都市計画室)

施策体系	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備

1. 施策の基本方針

Plan

- ・ 名張駅周辺の都市サービス機能の充実や名張の顔にふさわしいシンボル性の高い都市空間の形成を目指します。
- ・ 地域特性に応じた個性的なまちづくりを進めることで、質の高い生活環境を形成します。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・ 名張地区既成市街地においては、歴史的・地域資源を活かし、地域住民と協働で生活環境の整備や地域福祉の充実を図ります。
- ・ 名張駅周辺については、交通機能や都市サービス機能の充実を目指します。
- ・ 希中央地区については、公益施設用地の活用などによって、さらなる市街化を促進します。
- ・ 住宅市街地においては、老朽化してきた都市施設の保全・修復や、交通のユニバーサルデザイン化など高齢者に優しいまちづくりを進めます。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・ 希中央区域内農地の宅地化については、引続き地域組織や関係部局と連携し、有効な対応策を検討する必要があります。
- ・ 未売却の保留地については、これまで売却してきた物件に比べ不整形地など販売が難しい部分があるが、引続きPRに努めるとともに、必要に応じ価格改定を行うなど、販売促進を図る必要があります。
- ・ やなせ宿においては、指定管理に向けた調整を進める必要があります。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	60.0	63.0	
	成果	57.2	53.8	50.0	47.6			0%
再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合 (%)	目標	-	-	-	-	39.0	41.0	
	成果	36.0	75.0	76.7	61.5			100%
やなせ宿の入館者数【延べ値】 (人)	目標	-	-	-	-	85,100	136,500	
	成果	17,000	35,400	55,400	73,800			48%
希中央の宅地化率 (%)	目標	-	-	-	-	84.0	94.0	
	成果	67.5	71.1	73.5	79.1			44%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

「名張市都市マスタープラン」で掲げた集約連携型都市の中核を担う、都市機能・都市交流・都市居住の市街地拠点については、居住と商業・業務などの適切な土地利用、利便性の高い都市交通、魅力ある都市空間の創出など、中心市街地の機能向上に向けた課題研究に取り組みました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

これまで、「旧細川邸やなせ宿」の運営・管理については「まちなか運営協議会」に委託し、自主的な事業展開を促進してきたところですが、「名張まちなか再生プラン」の発展的な取組として、今後も名張地区まちづくり推進協議会をはじめとする各種関係団体との合意形成を図ります。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 4 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名 (事業名の印は、市長の重点施策事業を示しています)		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
	2010 (H22)	2011 (H23)					
1123	旧細川邸やなせ宿活用推進事業	都市計画室	2,539	2,539	H23事業完了	B	-
1125	土地区画整理関係経費	都市計画室	2,104	5,133	H24事業完了予定	B	B
1178	まちなか支援事業費	地域経営室	0	0	継続(事務改善)	B	B
5031	旧細川邸やなせ宿等維持管理費	都市計画室	3,694	3,664	継続(事務改善)	A	B
合計(単位：千円)			8,337	11,336			
小計(うち、一般会計分)			8,337	11,336			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<p>商業地域の内、希中央2番町の15,000㎡については温浴施設と地場産施設の建設に向け、調整、契約等の手続きが完了する見込です。</p> <p>一方、区域内農地の宅地化については、庁内で協議するものの有効な方策を見出せないことから、年度内の進展は困難な状況です。</p>

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

中心市街地の魅力向上には、そこを舞台とする市民や事業者の活動が不可欠です。そのため、土地利用や景観等の施策立案段階で、広く市民や事業者の意見を反映できる仕組みづくりを進めるとともに、各拠点の適切な役割分担と連携のもと、まちの顔に相応しい都市機能と都市空間の形成を目指します。

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他(意見)